

社馬連資格審査会審査要領(Aグレード)

〔審査項目〕

馬場馬術と障害飛越の2種目を実施する。

〔合否の判定〕

2種目の合計点の55%以上を合格とする。

〔配点〕

馬場馬術 $100 \times 0.7 = 70$ 点、障害飛越 80 点、合計 150 点とする。

〔審査方法〕

1. 馬場馬術

- ・ JEF 第2課目2009の経路を審査する。
- ・ 審査員(2～3名)の平均得点率の70%を得点とする。

2. 障害飛越

- ・ コース : H100、W100 以下 8 障害、9 飛越(経路図参照)
- ・ 形式 : 基準表 A とするが、通常の採点に加え「誘導の部」「飛越状態の部」に着眼して採点を行う。
- ・ 審査 : 審査を①誘導の部、②飛越状態の部、③通常の部、の3セクションに分けそれぞれ審査する。または、①誘導の部及び飛越状態の部、②通常の部、の2セクションに分けそれぞれ審査する。誘導の部・飛越状態の部を担当した審査員(2～3名)の平均得点から通常の部の過失点(基準表 A)を差し引いた点を得点とする。

〔付録〕

1. 障害飛越審査の要点

①誘導の部

- ・ 障害の中央へ正しく誘導しているか。
- ・ 適切な踏切を行っているか。
- ・ 適切なペース、リズムで走行しているか。
- ・ 走行中、正しい騎乗姿勢が維持されているか。
- ・ 走行中、正しい扶助操作を行っているか。

②飛越状態の部

- ・ 飛越前、中、後における騎手の安定感。
- ・ 前傾は遅れていないか、また、先飛びしていないか。
- ・ 拳はゆずられているか。
- ・ 着地の際、状態はつつこんでいないか。
- ・ 正しい脚の位置は保たれているか。

社馬連資格審査会審査要領(B・Cグレード)

1 筆記試験

B・C受験者共に馬術の基礎知識について筆記試験を行います。

出題内容は「日本馬術連盟騎乗者資格B級」程度です。

- ① 馬の馬体名称、毛色、品種、歩法、扶助、馬具、部班運動
- ② 馬スポーツ憲章
- ③ 馬の管理
- ④ 馬場馬術競技のルール
- ⑤ 障害馬術競技のルール

筆記試験の合格基準はB、B'は70%以上を合格とする

Cは50%以上を合格とする

2 実技試験

B・C受験者共に同一の部班審査を行います。

この審査で50点以上の者が障害の審査に進むことができます。

部班運動の着眼点

- ① 正しい姿勢(含むアブミの長さ)とバランス
- ② ハミ受けの状態
- ③ 正しい運歩の維持とリズム
- ④ 直線上・曲線上の真直性

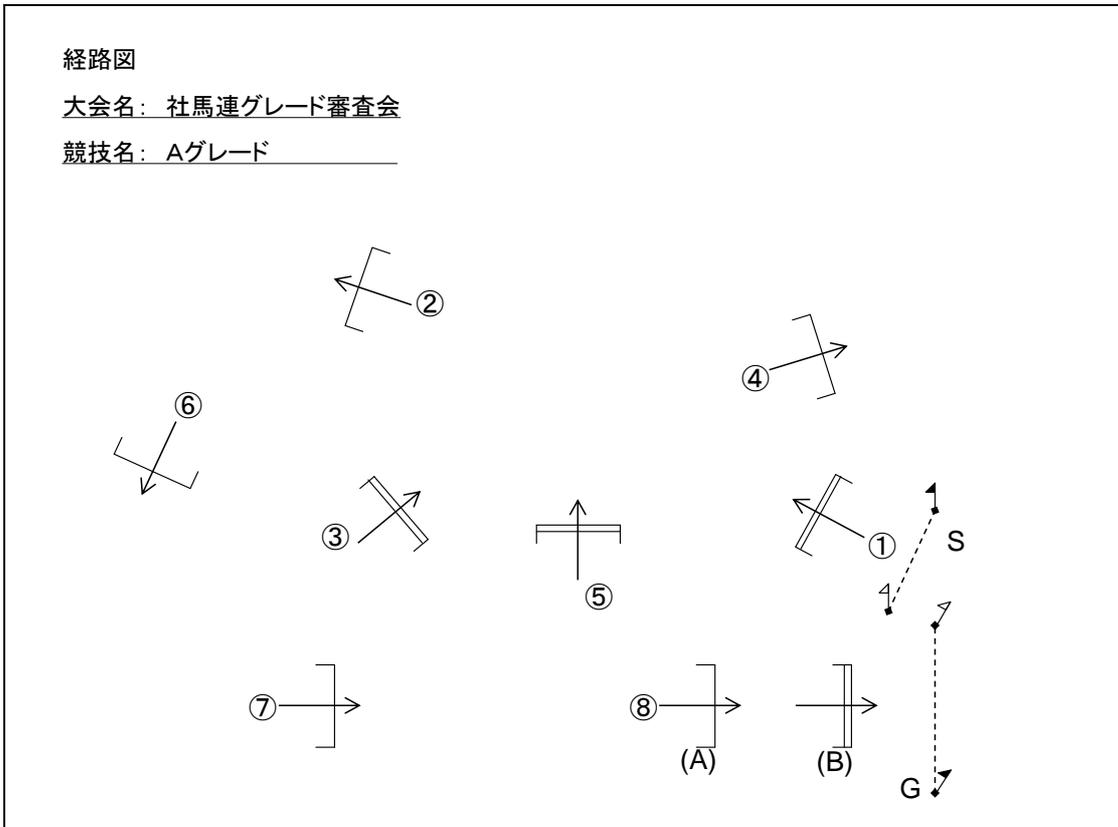
障害飛越審査(障害数8個のコース)の着眼点

- ① 騎手のバランス
- ② 馬の誘導とペース
- ③ 飛越状態

3 実技試験合格基準

Bグレード	: 部班・障害審査共に50点以上の者
B'グレード(馬場限定)	: 部班審査で50点以上の者
Cグレード	: 部班審査で40点以上の者
Dグレード	: 部班審査で40点未満の者

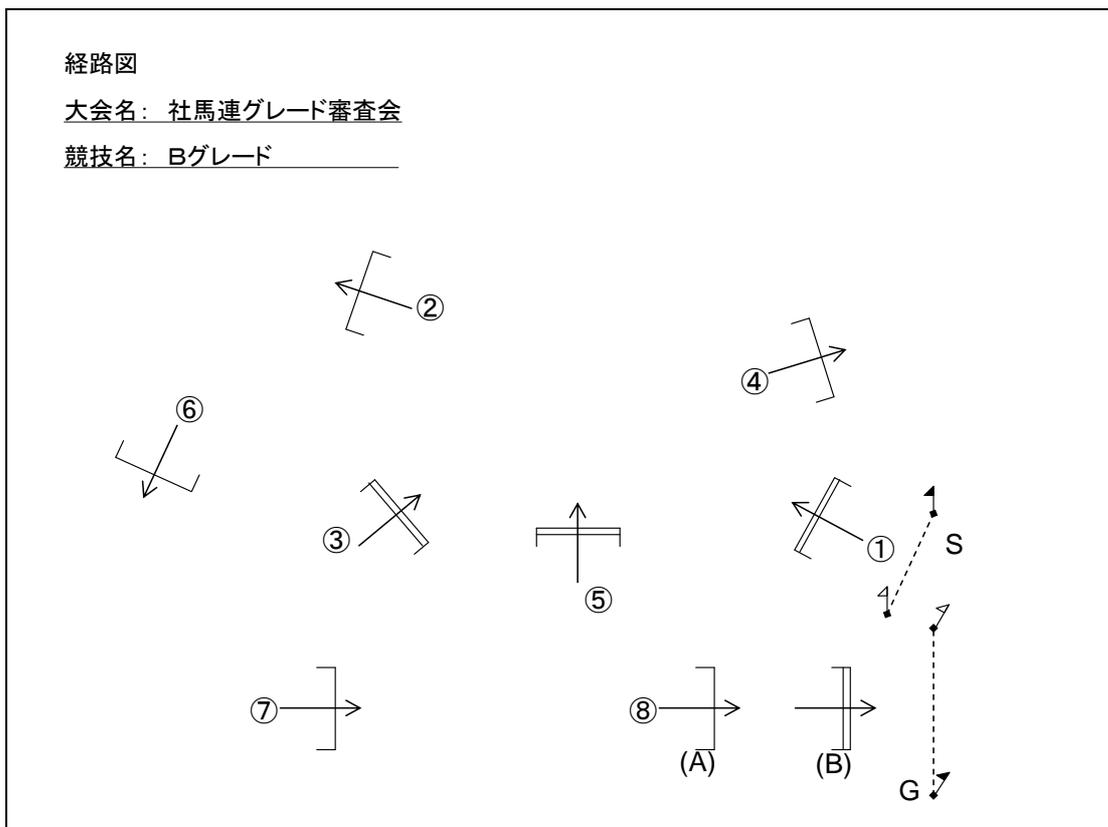
障害飛越経路
Aグレード



No.	障害の種類	高さ	幅
1	オクサー	70cm × 80cm	70cm
2	垂直	80cm	
3	オクサー	80cm × 90cm	80cm
4	垂直	90cm	
5	オクサー	80cm × 90cm	90cm
6	垂直	90cm	
7	垂直	90cm	
8(A)	垂直	90cm	
(B)	オクサー	95cm × 100cm	100cm

(注)経路および障害の高さに関しては、開催場所や当日の都合で変更になる場合があります。

障害飛越経路
Bグレード



No.	障害の種類	高さ	幅
1	オクサー	60cm × 70cm	60cm
2	垂直	70cm	
3	オクサー	60cm × 70cm	60cm
4	垂直	70cm	
5	オクサー	70cm × 80cm	70cm
6	垂直	70cm	
7	垂直	80cm	
8(A)	垂直	80cm	
(B)	オクサー	70cm × 80cm	80cm

(注)経路および障害の高さに関しては、開催場所や当日の都合で変更になる場合があります。

JEF 馬場馬術競技 第2課目 2009

時間 4'15''(参考時間)

【馬場:20m×40m】

競技会名

日付

審判員名

審判員位置

出番順

競技者名

所属

馬名

順序	運動課目	最高点	採点	修正	係数	合計	着眼点	観察所見
1.	A 尋常速歩で入場 X 停止—不動—敬礼 尋常速歩で発進	10					入場(真直性) 停止(不動) 速歩から停止と 停止から速歩への移行	
2.	C 右手前蹄跡に入る MXK 中間速歩 KA 尋常速歩	10					歩巾の伸展と運歩の修正 移行	
3.	AC 蛇乗り3彎曲	10					彎曲の修正 正しい馬体の屈曲と態勢の変化	
4.	CH 尋常速歩 HK 中間速歩 KA 尋常速歩	10					歩巾の伸展、運歩の修正 移行	
5.	AF 中間常歩 FXH 斜前変換、手綱を伸ばした常歩 (軽いコンタクト) HC 中間常歩	10					速歩から常歩への移行 後肢の活発な動き、運歩の修正 のびのびとした歩調 移行	
6.	C 右尋常駢歩で発進 続いて右へ直径20mの輪乗り	10					駢歩へのスムーズな移行 輪乗りの修正、馬体の屈曲と平衡	
7.	CM 尋常駢歩 MF 中間駢歩 FAK 尋常駢歩	10					運歩の修正 歩巾の伸展 移行	
8.	KX 尋常駢歩 XM 尋常速歩 MC 中間常歩	10					スムーズな移行 真直性 運歩の修正	
9.	C 左尋常駢歩で発進 続いて左へ直径20mの輪乗り	10					駢歩へのスムーズな移行 輪乗りの修正、馬体の屈曲と平衡	
10.	CH 尋常駢歩 HK 中間駢歩 KAF 尋常駢歩	10					運歩の修正 歩巾の伸展 移行	
11.	FX 尋常駢歩 XH 尋常速歩 HC 中間常歩	10					スムーズな移行 真直性 運歩の修正	
12.	C 尋常速歩で発進 B 右へ直径10mの半輪乗り	10					常歩から速歩への移行 半巻乗りの修正	
13.	X 中央線に入る G 停止—不動—敬礼	10					真直性 停止(不動)	
	手綱を伸ばした常歩でAより退場							
計		130						

JEF 馬場馬術競技 第2課目 2009

出番順

競技者名

所属

馬名

総合観察

1. ペース(自由自在に变じ、かつ整正であること)
2. インパルジョン(馬の前進意欲、弾発ある運歩、背の柔軟、後躯のエンゲイジメント)
3. 従順性(集中力、自信に満ちた演技力・運動の調和、軽快性及び無理のなさ、ハミ受けと前肢の軽快性)
4. 騎手の姿勢、騎座: 正確かつ有効な扶助

合計

得点から減点すべきもの/ペナルティポイント

経路違反 430条の6.1を参照

1回目 = 2点減

2回目 = 4点減

3回目 = 失権

その他の違反は1回ごとに2点減

430条6.2を参照

計

10			1		総合観察所見
10			1		
10			1		
10			1		
170					
			1回目		
			2回目		
			3回目		
					最終得点率%:

審判員署名

JEF 2009年4月1日施行
JEF 2012年2月1日更新